

## ラウ シンイーゼミナール【経済-12 クラス】

2016年度「ゼミナール1」のシラバス  
(担当：ラウシンイー)

題目：日本とアジア諸国の経済社会に関する諸問題の基礎研究

目標：自ら、問題所在を発掘し、経済学の視点からその問題を考察し、解決策を考える方法を見に付ける。

講義内容：以下のトピックスを焦点に、基礎的研究を行う。ゼミナール1の成果を第2学期のゼミナール2においてさらに発展させることを前提とする。

- 1) 市民社会論
- 2) 高齢化問題の国際比較
- 3) 国際人口・労働移動
- 4) 日本と東南アジア諸国の協力
- 5) 発展途上国の貧困と不平等

運営方法：

- 1) 受講生は上記のトピックスより1つを選択し、各自がそれに関連する文献を調べ、問題提起を行う。
- 2) 各自の問題意識について理論的な考察を行う。
- 3) 各学生が選択したトピックスに沿って週1人の発表を行い、全員で討論を通じて考察を深める。
- 4) 第2学期のゼミナール2に展開する作業内容を明らかにし、研究レポートをまとめる。

評価方法：出席、議論、レポートによって総合評価を行う

履修条件：上記のトピックスに限定する

担当者の一言：

- 1) 経済学の理論の応用に関心のある学生を歓迎。
- 2) 年2回程度の親睦会を開催する。

### 【身に付くように意識している汎用的能力】

知的好奇心	◎
本質を理解する力	○
論理的に考える力	◎
多様性を理解する力	◎
様々な人と対話する力	◎
自ら行動する力	◎
自信を生み出す力	◎